

	読むこと READING	聞くこと LISTENING	書くこと WRITING	話すこと SPEAKING
LEVEL 1 第1学年 前半	日常生活を話題とする平易な文章(散文、物語文、2000語レベル)であれば、60wpmの速度で大意を把握しながら読むことができる。	趣味やスポーツ、部活動などの身近なトピックに関する短い話を、ゆっくりはっきりと話されれば、理解することができる。 催し物など日常生活の身近なトピックについての話を、ゆっくりはっきりと話されれば、場所や時間等の具体的な情報を聞きとることができる。	簡単な語彙を用いて自分の身の回りのことについて、短い文章を書くことができる。	一連の簡単な句や文を使って、身近な話題(学校や地域など)について、簡単な語彙や文を使って短い話をするすることができる。
LEVEL 2 第1学年 後半	日常的な話題の文章(2500語レベル)であれば、70wpmの速度で、大意を把握しながら読むことができる。	自分自身や自分の家族・学校・地域などの身の回りの事柄に関連した句や表現を、ゆっくりはっきりと話されれば、理解することができる。 道順、値段、電話番号など買い物や外食などで簡単な用をたすのに必要な指示や説明を、ゆっくりはっきりと話されれば、理解することができる。	辞書で調べた語彙を用いて、自分の身の回りのことや自分の意見などについて、複数の文を用いて文章を書くことができる。	前もって発話することを用意した上で、限られた身近な話題について、メモの助けがあれば、簡単な語や基礎的な句や構文を用い、5文または50語以上で意見を言うことができる。
LEVEL 3 第2学年 前半	社会問題を話題とする平易な文章(3000語レベル)を75wpmの速度で、その概要を把握しながら読むことができる。 段落内には、主題文と指示文があることを理解し、その段落の主題を考えながら読むことができる。	公共の乗り物や駅や空港の短い簡潔なアナウンスを、ゆっくりはっきりと放送されれば、理解することができる。 学校の宿題、旅行の日程など明確で具体的な事実を、はっきりとなじみのある発音で指示されれば、要点を理解することができる。 5文程度の長さの短い話や会話を聞いて、話し手の意図や内容の状況を理解できる。	辞書で語彙を調べれば、自分の身の回りの出来事や自分の意見や感想を整理して、文法的にほぼ間違いのない複数の文を用いてまとまりのある文章を書くことができる。	メモの助けがあれば、日常生活で簡単な用を足したり、興味・関心のあることについて相手を混乱させないように自分の考えを述べることができる。(例:好きなスポーツ・趣味、将来の夢や希望、自分の気持ち、簡単な約束、レストランでの注文、電話での表現や決まり文句など)。
LEVEL 4 第2学年 後半	社会問題や科学を話題とする平易な文章(3500語レベル)を80wpmの速度で、その概要を把握しながら読むことができる。 数段落の文章を、段落毎の主題と要旨をつかみながら読むことができる。	スポーツ・料理などの一連の行動を、ゆっくりはっきりと指示されれば、指示通りに行動することができる。 料理、工作などの視覚補助のある作業の指示を、ゆっくりはっきりと話されれば、聞いて理解することができる。	辞書で語彙を調べれば、自分の身の回りの出来事や自分の意見や感想を整理して、等位接続詞や従属接続詞を用いた文(重文や複文)で文法的にほぼ間違いのないまとまりのある文章を書くことができる。	使える語句や表現を繋いで、メモの助けがあれば、自分のスピーチに対する質問に英語で論理的に答えることができる。
LEVEL 5 第3学年 前半	文化、人間、哲学、社会、環境、科学などの様々なテーマの論説文や物語文を、平易なもの(4000語レベル)であれば90wpmの速度で、その概要を把握しながら読むことができる。 ディスコース・マーカーを手がかりにして、前後関係を押さえて大意を把握することができる。	外国の行事や習慣などに関する説明の概要を、ゆっくりはっきりと話されれば、理解することができる。 10文程度の長さのわかりやすい展開の話や会話を聞いて、大筋なら内容を理解できる。	既習の語彙を用いて、自分が経験したことや与えられたテーマに関して、ディスコースマーカーを用いて文法的にほぼ間違いのない論理的なまとまりのある文章を書くことができる。	高校生がアルバイトをすることに對して賛成か反対かを述べるなど、身近な社会的な話題に関するスピーチを英語で行い、質問にもキーワードを使って論理的に英語で答えることができる。
LEVEL 6 第3学年 後半	抽象度の高い文章や学術的な文章でも、ある程度未知語を推測しながら概要を読み取ることができる。 平易な論説文や物語文(5000語レベル)であれば、100wpmの速度で大意を読み取ることができる。また、広告文や新聞の見出しのような文章を探し読みやとばし読みすることができる。	自分の周りで話されている少し長めの議論でも、はっきりとなじみのある発音であれば、その要点を理解することができる。 日本で放送されているラジオやテレビの英語ニュース全般を聞いて、話題や大筋を理解することができる。	既習の語彙を用いて、自分にかわりのある環境や与えられたテーマに関して、ディスコースマーカーを用いて文法的にほぼ間違いのない論理的な文章を、パラグラフ構成の整った複数の段落で書くことができる。	日本国内ニュースで取り上げられる社会問題などに関するスピーチを即興でキーワードを使って、論理的に英語で述べるができる。